

## 令和元年度霧島市善行表彰

### 【ボランティア部門】

番号	氏名・団体名	表 彰 内 容
1	地美活 ～地域を美しくする活動～ (国 分)	2015 年第一工業大学ボランティアサークルとして新入生数名で結成。彼らの友人を中心に小規模ながらも自発的な活動が行われていた。近年メンバー及び参加活動が拡大し、地域に不可欠な存在になった。霧島国分夏まつり、ふるさと霧島夏祭り、霧島ハロウィン、鹿児島マラソン等のイベントボランティアとして参加し、通年では子供食堂とマナビバへ参加している。
2	国分中央高等学校 ボランティア部 (国 分)	汚れた場所の調査や計画立て、道具の選定等生徒が自主的に行い効率的に校外の清掃活動を平日週2回、土曜日1回行っている。月5回程、学童保育「虹の橋」で保育ボランティアを行っている。きりしま地域人材バンクや国分隼人ライオンズクラブの依頼を受け、年間 20 日以上地域イベントに手伝いとして参加している。月2回程、子ども食堂お助けマン隼人で配膳ボランティアを行っている。
3	鹿児島工業高等専門学校 吹奏楽部 (隼 人)	40 年にわたり実施している巡回演奏旅行では、鹿児島県及びその周辺地域の、とくに僻地の小学生・保育園児に音楽を通じた感動を伝えることと、学生のボランティア精神の育成を目標としている。今年度は7月 11 日～13 日に北薩方面をまわった。こうした取組が、子ども達に音楽文化の素晴らしさを伝えるだけでなく、他の学生の模範ともなる活動である。
4	第一幼児教育短期大学 学友会 (国 分)	霧島国分夏まつりにおいて、学友会が中心となり、「遊びの広場」の企画・準備・実施を毎年行っており、地域発展に貢献している。学友会の中にある「第一幼児教育短期大学レオクラブ」というボランティア組織を中心に、周辺の保育園等からの運動会支援、各種催し会における託児支援、献血支援等、ボランティア活動を行っている。
5	ほしのたね (霧 島)	霧島小学校の児童に読書の楽しさを味わわせ、豊かな心情を育てようと、平成 25 年度から「読み聞かせ」ボランティアを行っている。当初は、一部の学級での活動だったものを保護者や霧島公民館と連携し、全学年対象に読み聞かせを行っている。この取組は児童の読書意欲の向上につながり、保護者の意識改革にも寄与している。
6	宮内小学校 6年 福田 莉央 他 14 名 (隼 人)	令和元年5月 30 日学校帰りに、用水路に面した木の柵を乗り越えようとする認知症の高齢女性を連係プレー(女性に気づき声をかけた子、母親を呼びに家にかけこんだ子、学校に戻って先生に知らせた子、近くにいた人に携帯で通報してもらった子)で救助した。 児童一人ひとりが自分達で判断し適切な行動ができた。
7	徳丸 秀則 (国 分)	山崎霊園が手狭となった時期に、隣接地を所有していた為、地元から墓地造成の相談を受ける。快諾し、地域代表と永代使用契約を締結。今回、自分の年齢等を考慮し、土地を向花公民館に寄付する申し出をし、墓地委員会での協議後に霧島市への寄付が認められた。私財を寄付し、地域住民へ未来永劫の安心と先祖代々の霊に鎮魂を与えてくれた。
8	黒木 更生 (横 川)	長きにわたり、行政職を務め、横川町議会、霧島市議会各議員として、町政、市政の発展に寄与した。 また佐々木地区公民館長として6年務め地域の発展に貢献し、市民の模範となった。
9	藤田 ことみ (横 川)	病気や不慮の事故等により髪の毛を失った子どもたちのために、2年3ヶ月伸ばした自身の髪(31cm)を切り、ヘアドネーションドナーとして寄付し社会に貢献した。小学校3年生でありながら、社会の為に少しでも役立ちたいとの道徳心が同世代の模範となるものである。

10	松元 綺音 (国分)	令和元年5月30日登校中、学校近くの歩道で木を抱え込むように倒れた高齢者男性を目撃し、男性の状態を確認後、タクシー運転手に助けを求め、119番通報してもらうという的確な行動で救助した。
11	のだと 祐奈 (国分)	令和元年5月30日登校中、学校近くの歩道で木を抱え込むように倒れた高齢者男性を目撃し、男性の状態を確認後、タクシー運転手に助けを求め、119番通報してもらうという的確な行動で救助した。
12	堂園 心花 (国分)	令和元年5月30日登校中、学校近くの歩道で木を抱え込むように倒れた高齢者男性を目撃し、男性の状態を確認後、タクシー運転手に助けを求め、119番通報してもらうという的確な行動で救助した。
13	今吉 康己 (溝辺)	永年、地域活性化の為に尽力され、現在も自治会行事など積極的に社会奉仕している。 老人会でも積極的な活動を行っている。
14	中園 晃 (隼人)	隼人町及び霧島市の文化財保護審議員を務め、平成13年から姫城地区広報誌「ひめぎ」の歴史散歩を投稿・編集し、15年の長きにわたって執筆した。高齢でありながら、変化する郷土の歴史をきめ細かく、調査・記録され、今なお、投稿している。
15	上原 巧 (国分)	重久自治会子ども会では、リーダーとして十五夜祭りの子ども相撲、綱引き等で皆をまとめながら、行事の成功、地域活性化に貢献している。校内の総務委員会の委員長として児童会活動に積極的に取り組み、挨拶運動や児童総会を通して青葉小学校の活性化に尽力している。
16	南 快治 (国分)	国分中央高校のボランティア部に所属、部活動に参加するだけではなく、地域の子ども会行事の運営の手伝いや交流会への出席など自主的に活動範囲を広げ、休日の多くを奉仕活動に費やしている。 生徒会副会長として、2年間活動し、校内外で率先して、明るくあいさつに努め、他の生徒の模範となるべく自覚して高校生活を送っている。
17	藤山 律子 (溝辺)	老人会での花だんづりや花いっぱい運動活動、アドバイザー活動、毎月2回サロン活動の推進及び昔ながらの工夫でものづくりをする料理教室など実践している。地域の各行事にも積極的に参加され、リーダーをしている。また、趣味も多く太鼓等イベントに参加し、喜ばれている。
18	今里 亜雄 (国分)	第一工業大学1年生の時からボランティアサークル地美活に所属し、代表者となってからは、全学規模で参加者を集め、多数の地域活動・行事に参加した実績を作った。他にも学園祭、舞鶴隊(地域見回り)の中心的な役割を担い広報や意見発信の場にも積極的に参加した。
19	植原 チヅ子 (牧園)	地区内の高齢者・独居老人宅をほぼ毎日訪問活動している。 高齢者の見守りとケアのためにボランティア団体(ひまわり)を立ち上げ、月2回の高齢者宅訪問を実践して話し相手になっている。 また、不定期(月1回程度)介護支援施設を訪問して支援している。 「地域のひろば推進事業」等のボランティア事業に積極的に応募し、周囲の住民に声かけをして福祉活動の普及に努めている。

#### 【青少年健全育成部門】

番号	氏名・団体名	表彰内容
1	肥後 義弘 (隼人)	15年度に「青少年育成モデル事業」として、実行委員会を組織し、会長に就任。発足して16年、姫城地区の子ども達に、「生きる力」を身につけさせる為に、「体験活動」を数多く取り入れ、健全に育てたいとの願いで現在に至る。 農業体験を行う事で三世代の交流、安心・安全な食文化の継承及び集落の伝統的な行事の保存がなされ、地域住民との絆も強くなった。
2	外山 丈夫 (隼人)	過去10年間地域の小学生の登下校時に交通安全、あいさつ等の指導を毎日行っている。児童一人ひとりの個性を把握し指導している。

【環境美化部門】

番号	氏名	表彰内容
1	霧島みずほ会 (霧島)	平成22年4月に設立、景観形成や保全・美化活動を行っている。 国道223号線の清掃活動の実施や沿道の紅葉や桜の保全活動を行うと共に苗木育成や植栽、下払いや立ち枯れの伐採を行っている。
2	田島 清春 (横川)	平成20年から、毎月定期的にJR肥薩線今村踏切周辺や線路沿い及び第2今村住宅周辺の草払い作業を行い、地域の環境美化に尽力している。 また、通学路である市道今村黒葛原線の草払いや道路清掃を行いながら、子ども達の通学時の見守り活動にも貢献している。 各種行事やイベントの運営にも積極的に協力し、地域の活性化や交流活動に尽力している。
3	喜聞 一男 (横川)	平成25年から毎月4月～11月に掛けて帰宅後、地域を流れる万膳川及び天降川の堤防などの草払い作業をほぼ毎日のように行い、地域の環境美化に貢献している。 各種行事やイベントの運営にも積極的に協力し、地域の活性化や交流活動に尽力している。
4	福地 伸一 (横川)	平成23年から毎月定期的にJR肥薩線植村駅周辺や線路沿い及び天降川堤防の草払い作業を行い、地域の環境美化に尽力している。 各種行事やイベントの運営にも積極的に協力し、地域の活性化や交流活動に尽力している。 また、防犯パトロール等に参加し、住民の安心・安全な暮らしにも貢献している。
5	上原 良一 (国分)	平成26年度から「環境美化及び河川環境保全推進員」を務め、向花地域の環境美化と河川環境の保全に貢献している。 休みの日には早朝から、ゴミ袋片手に手籠川河畔や地域を回り、ゴミなどを拾い集め、環境美化に尽力している。 また、「向花地区まちづくり委員会」では、地域住民こそってチリ拾いをする仕組みを提案するなど積極的に活動している。
6	樋渡 明 (福山)	地域の環境美化、社会奉仕ボランティア活動などリーダーとして積極的に活動している。
7	小濱 光則 (霧島)	永年地区公民館美化作業に進んで頑張っている。桂内地区で年1回、国立公園記念碑周辺で年2回程、1人で美化作業を行っている。 また、自治公民館の中でも協力的で、菜の花ウォークでは自分から進んで、農産物を保存して、おもてなしを1年がかりで行っている。
8	小園 東治 (隼人)	平成15年4月1日隼人町環境保全協会地区環境保全推進員に就任し、平成31年3月31日まで活動を行う。特に平成21年4月1日以降は、小野地区の代表として支部の中心的な活動を担い、毎月の分別指導にも永年にわたり尽力された。 また、自主的に地域の環境美化のボランティア活動に従事しつつ、小浜海水浴場清掃、天降川清掃等隼人地区をあげてのボランティア清掃活動を行うなど、地域の環境美化及び市の環境保全に貢献した。
9	園田 慶禧 (隼人)	平成17年4月1日隼人町環境保全協会地区環境保全推進員に就任し、平成31年3月31日まで活動を行う。特に平成20年4月1日から平成24年3月31日の間は、日当山地区の代表として支部の中心的な活動を担い、毎月の分別指導にも永年にわたり尽力された。 また、自主的に地域の環境美化のボランティア活動に従事しつつ、小浜海水浴場清掃、天降川清掃等隼人地区をあげてのボランティア清掃活動を行うなど、地域の環境美化及び市の環境保全に貢献した。